

## 新中核病院建設と県西総合病院の将来像は



上野征一 議員

**問** 市長は今回の選挙戦で、「トップセールスで地場産業を盛り上げる」と、市民と公約をされたが、どのような施策をするのか。

**答** 市長 工業団地へ優良企業を誘致し、税収アップと雇用の創出を目指します。さらに、市が所有

している遊休地や未利用地の処分を努め、住宅地を増やし人口減少にブレーキをかける。それが私の仕事だと思っています。

**問** 新中核病院建設と県西総合病院の将来像は。前市長が平成21年7月に提案された中核病院建設の件、議場で私が「県西総合病院改修が先ではないのか。新中核病院の必要性は理解できるが、桜川市の財政で負担でき得るのか」と、緊急動議を提出した。当時、市長は中核病院を考える会特別委員長であった。同僚の11名合意のもとに、県西総合病院を桜川市からなくすことはできないと行動を共にしてきたのではないか。今回の市長選の公約で、急遽180度方向転換して、新中核病院建設にかじを切ったのは理解しがたい。経営形態は公設民営、独立行政法

人、指定管理者制度、非常に聞きやすい熟語であるが、県西総合病院の将来像を明確にしたい。

**答** 市長 私は、一貫して経営形態は公設民営、指定管理者制度、独立行政法人、これらは役所経営と基本的に異なります。財政負担の件は、当市より年間3億円以上の負担はできません。この件だけは市民の皆様と約束をさせていただきま

す。また、今後の県西総合病院は、外来患者1日300名の担保なくして、新中核病院建設を進め、県西総合病院を廃止するようなことはあり得ないとお約束をさせていただきま

す。医療機関の少ない桜川市にとって、県西総合病院は拠点病院として大変重要な施設であることを認識し、安定的な患者受け入れを構築していきます。

## 市有地問題提起について



風野和視 議員

**問** 旧桃山中学校跡地の利用計画について伺う。旧桃山中学校跡地の経緯は、「本来教育関係に使用する」という地権者からの話があったということとを理解している。ただ時代の背景も変わり、財源が乏しい桜川市で市所有の空き地がある中、旧桃山中学校跡地を有効に利用しないと、財政難の桜川市は生きていけない。市の持ち物から民間への移行・売却というものを視野に入れつつ、市の財政をにらみながら運営していかないと厳

しいのではないか。人口減少にある中、市外から人を呼び込めるような施設や、財政効果のために固定資産税等税収アップを望む、そのようなこともこれから必要だと思う。

少の抑制や流入人口が期待できること、市の将来にわたって恩恵を受けることを念頭に検討していきたいと思っています。

その他の質問  
観光対策



旧桃山中学校跡地

**答** 市長 旧桃山中学校跡地はスポーツ少年団が利用しているのので、代替地の確保も認識していただいた上で市の見解を伺う。

**問** 市長 旧桃山中学校跡地を含めた市所有の遊休地については、市としては有効活用策がない場合、民間などへの売却を検討していきたいと考え

## 市の地場産業について



鈴木裕一 議員

**問** 市の地場産業である石材業は、95%以上が墓石にかかわって生計を立てている。そして、毎年数十件ペースで廃業・倒産に追い込まれ、今では下請けを含めても全盛期の半分ぐらいに石材業者が減っている。今回の市長の公約である、石材のブランド化を図り全国に売り込んでいただけるということで、石材業が大きな期待をしていることと思う。そこで、市長の考える石材製品のブランド化、全国に売り込むトップセールスの方

法について伺う。

**答** 市長 石材製品の紹介として、茨城県石材業協同組合連合会が毎年11月に開催している「いばらきストーンフェスティバル」、桜川市商工会が開催している「大和の石まつり」等で、石材製品の紹介を行っています。今後はこれらのイベントに私



大和の石まつり

も出向き、積極的に売り込もうと思っております。また、市のホームページ・茨城県東京事務所・いばらき観光物産センター等と連携し、石材製品や特産品の紹介・売り込みを推進していきたいと考えています。

**問** 市長の考える公正・公平な工事入札について伺う。

**答** 市長 桜川市契約検査提言に記載されている市一般競争入札実施要綱等を遵守し、地元企業の受注機会の確保及び育成を目的に施行しております。また、市建設工事等入札参加資格審査基準要綱にある等級格付けについて見直しを検討し、県に準ずるものにしたいたいと考えています。

**問** 市長 桜川市契約検査提言に記載されている市一般競争入札実施要綱等を遵守し、地元企業の受注機会の確保及び育成を目的に施行しております。また、市建設工事等入札参加資格審査基準要綱にある等級格付けについて見直しを検討し、県に準ずるものにしたいたいと考えています。

その他の質問  
県西総合病院存続

## 企業誘致の具体案は



高田重雄 議員

**問** 長方地区の準工専区域の開発、昨年企画案（桜川筑西IC周辺地区整備計画）が出され、大和駅から国道50号までの道路整備と、外周道路の拡幅について継続して進めていくのか。

**答** 市長 長方地区については、桜川筑西IC周辺地区整備計画に基づき、企業誘致の早期実現に向けて国道50号と大和駅を結ぶ道路計画を進めてきましたが、企業誘致の早期実現に向けて、準工業地域を道路整備だけでなく、面整備を主体とした一体的な土地利用の整備を進めていきたいと考えています。昨今の経済状況下において企業を誘致するには、企業のリスクを軽減し、進出しやすい環境を整えられるかだと考えています。さまざまな整備手法を検討し、進めていきたいと考えています。

**問** 市長 長方地区については、桜川筑西IC周辺地区整備計画に基づき、企業誘致の早期実現に向けて、準工業地域を道路整備だけでなく、面整備を主体とした一体的な土地利用の整備を進めていきたいと考えています。昨今の経済状況下において企業を誘致するには、企業のリスクを軽減し、進出しやすい環境を整えられるかだと考えています。さまざまな整備手法を検討し、進めていきたいと考えています。

**問** 地域振興策で、市長が「線引きの見直し、商業サービス、生産現場を盛り上げていきます」と言っている。この線引きを早急に見直し、

**問** 市長 線引きについて、制度の見直しと地域振興は密接な関係にあり、地域振興を図る上で線引き制度の見直しは必要なものだと考えています。線引き制度の見直しは、現在、国・県を交えた検討の場を設けて進めているところであります。引き続き、地域の振興の観点からも線引きの見直しに向け進めていきたいと考えています。

その他の質問  
地域医療  
教育環境の整備  
筑波山から岩瀬駅バス運行  
行政改革、職員採用の透明化